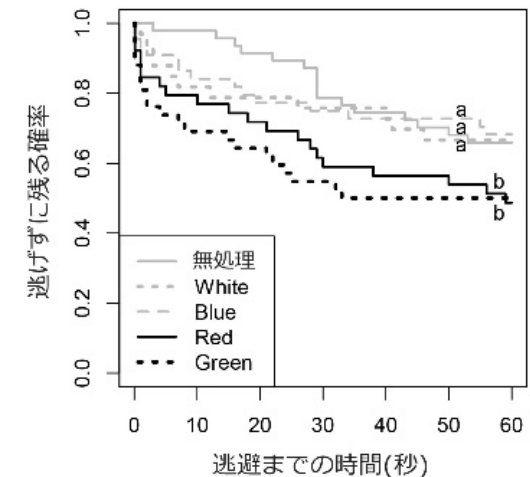


【成長戦略課題】光刺激による鳥獣の追い払い技術の確立(R7～9)

総合農業技術センター

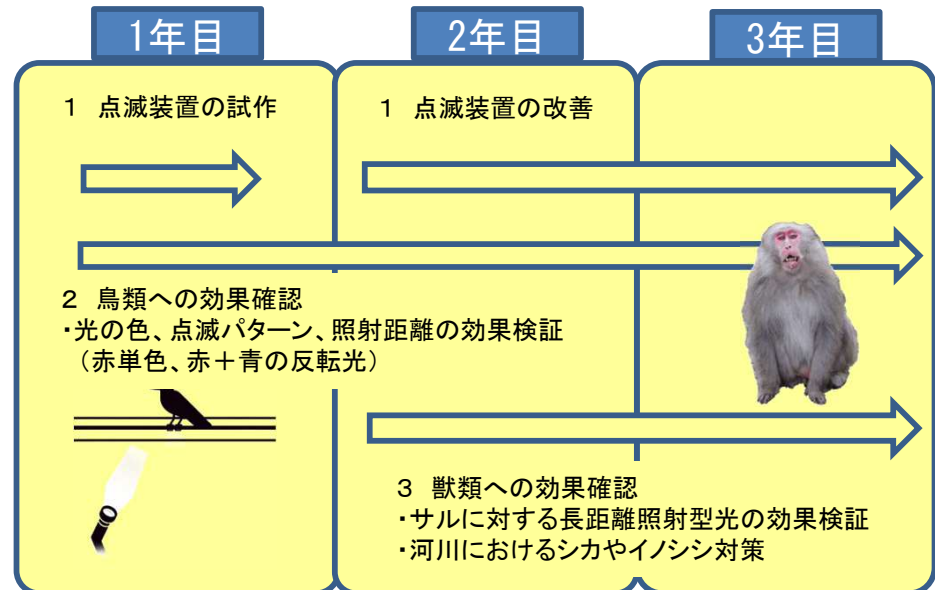
背景・目的

- 獣害対策では柵や捕獲、鳥害対策では防鳥ネットが利用されるが、労力がかかるため利用できない農家が存在する。
- これら典型的な技術の代替措置として、音・光・においを利用した技術が模索されているが、現存する技術で長期的な効果が期待できるものはない。
- ヒトを含む動物では「点滅性めまい」という現象が存在し、点滅する光により頭痛や不快感を引き起こすことが知られている。慣れを生じない生理的な反応。
- そこで、点滅する光の頻度、波長を変化させることで鳥獣の忌避行動を誘発する技術を開発する。



予備試験により、赤や緑の点滅光がカラスの追い払いに使える可能性を確認。

研究内容



期待される効果

- 鳥獣害の低減
- 被害の減少による農作物の安定生産
- 簡便な技術を開発することで労力が軽減